



<定点把握感染症>

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

疾患名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第18週	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(46)			(10)			(10)			(4)			(9)			(13)			
インフルエンザ	4703 1.02	38 2.38	29 0.63	▼	2 0.40	5 0.50	△	9 3.00	8 0.80	▼	8 4.00	4 1.00	▼	18 3.60	11 1.22	▼	1 1.00	1 0.08	▼	12555
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(6)			(7)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	696 0.24	10 0.91	6 0.20	▼										10 3.33	6 1.00	▼				137
咽頭結膜熱	590 0.20		21 0.70	△		1 0.17	△		8 1.14	△					10 1.67	△		2 0.25	△	211
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2255 0.77	16 1.45	82 2.73	△	3 1.00	16 2.67	△	1 0.33	22 3.14	△	3 3.00	7 2.33	▼	8 2.67	29 4.83	△	1 1.00	8 1.00		2133
感染性胃腸炎	6401 2.20	48 4.36	178 5.93	△	9 3.00	31 5.17	△	14 4.67	56 8.00	△	5 5.00	10 3.33	▼	16 5.33	48 8.00	△	4 4.00	33 4.13	△	4008
水痘	606 0.21		24 0.80	△		3 0.50	△		14 ◎2.00	△					5 0.83	△		2 0.25	△	216
手足口病	1001 0.34	1 0.09	4 0.13	△		1 0.17	△	1 0.33		▼		1 0.33	△					2 0.25	△	114
伝染性紅斑	663 0.23	9 0.82	20 0.67	▼		10 1.67	△	3 1.00	2 0.29	▼		4 1.33	△	6 ◎2.00	3 0.50	▼		1 0.13	△	879
突発性発しん	540 0.19	1 0.09	19 0.63	△		2 0.33	△		7 1.00	△		2 0.67	△	1 0.33	4 0.67	△		4 0.50	△	284
ヘルパンギーナ	157 0.05																			11
流行性耳下腺炎	151 0.05																			22
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	2 0.00																			
流行性角結膜炎	146 0.23	1 0.33	2 0.25	▼					1 0.33	△	1 1.00		▼					1 0.50	△	58
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	280 0.59	3 0.30	5 0.50	△	1 0.50	5 2.50	△				1 1.00		▼				1 0.33		▼	47
クラミジア肺炎	1 0.00																			
マイコプラズマ肺炎	60 0.13	2 0.20	1 0.10	▼	2 1.00	1 0.50	▼													34
細菌性髄膜炎	5 0.01	1 0.10		▼													1 0.33		▼	3
無菌性髄膜炎	5 0.01																			4

※表中の数値 上段: 報告数 下段: 定点当たり報告数
 ※定点当たり報告数が、▲: 2週連続増加、△: 今週増加、▼: 2週連続減少、▽: 今週減少

<全数把握感染症>

疾患名	報告数	備考
結核	3(村山1、最上1、庄内1)	
レジオネラ症	1(最上1)	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1(山形市1)	ワクチン接種歴: 無し。

<通信欄>

※迅速キットによる型別は、A型15件、B型14件です。集団発生の報告はありません。

※トピックスで、咽頭結膜熱について掲載しています。

※警報・注意報の基準値

疾患	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ			2		3	1	1	2	2			3	5	2	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
		2	1	1		4									29
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	1	4												6
咽頭結膜熱	1	6	8	2	1	2	1								21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	2	6	4	6	12	7	10	11	8	12	1	2	82
感染性胃腸炎	1	16	26	17	17	15	14	18	20	7	10	13	1	3	178
水痘				1	1	5	9	2	1	2	2	1			24
手足口病			1	1	1		1								4
伝染性紅斑		1	1	2	2	3	6	1	2	1	1				20
突発性発しん		5	11	1	2										19
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎															

< 平成31年4月 月報 >

2019年5月15日 発行

疾患名		山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)
		3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	
STD定点	(定点医療機関数)	(10)		(3)		(1)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数	16	10		3	6	1		1	1	3	9	2	53
	定点当り	1.60	1.00		1.00	1.50	1.00		1.00	0.50	1.50	3.00	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	8	9			3		4	3	1	5		1	36
	定点当り	0.80	0.90			0.75		4.00	3.00	0.50	2.50		0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	1	1			1	1							6
	定点当り	0.10	0.10			0.25	1.00							
淋菌感染症	報告数	6	2		1		1			3		3		14
	定点当り	0.60	0.20		0.33		1.00			1.50		1.00		
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	4						1			4	3	20
	定点当り	0.40	0.40						1.00			1.33	1.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	17	17		2	6	4		2			11	9	78
	定点当り	1.70	1.70		1.00	1.50	2.00		2.00			3.67	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													
	定点当り													

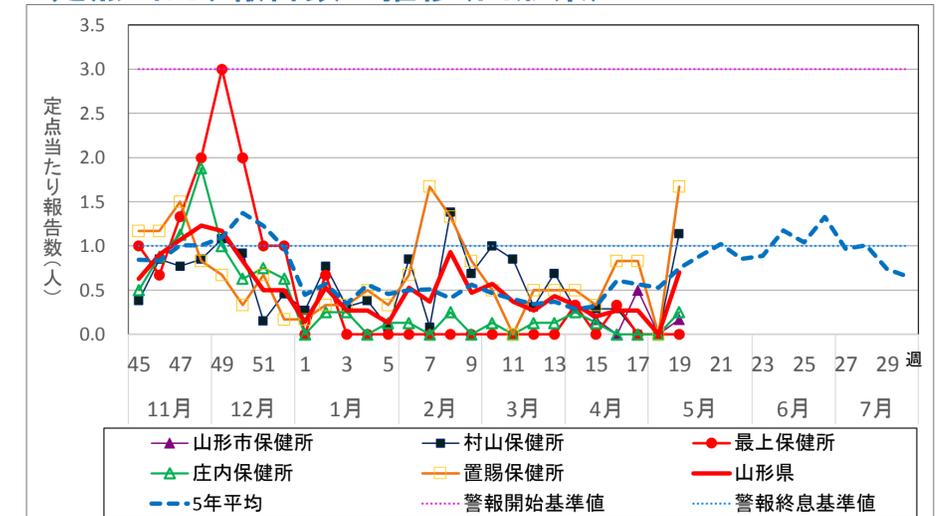
< トピックス >

咽頭結膜熱 情報

咽頭結膜熱の定点当たり報告数が、最上保健所を除く、県内4保健所で前週より増加しました。咽頭結膜熱は、5～6月に報告が増える傾向がありますので注意しましょう。

・第19週 定点当たり報告数 (山形県:0.70人)
 山形市保健所:0.17人、村山保健所:1.14人、最上保健所:0.00人
 置賜保健所:1.67人、庄内保健所:0.25人
 ※警報開始基準値:3 警報終息基準値:1

・ 定点当たり報告数の推移(山形県)



・咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱は、アデノウイルスに感染することによっておこる小児の急性ウイルス性感染症です。プールの時期に流行するとされていることから、プール熱とも呼ばれる咽頭結膜熱ですが、山形県では例年5～6月、11～12月の2回報告数のピークがみられます。

《症状》

発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに喉の痛み、結膜の充血、眼痛などを訴え、3～5日間程度持続します。眼に永続的な障害を残すことはありません。



《予防法》

感染者との密接な接触を避け、うがいや手洗いをしっかりとすることが大切です。